

テレスコープ技報 (3)

ミヤタテレスコープ技術研究所

2004年9月

工作室設備投資

アルミ等の金属加工が必要となるためボール盤、電動カッター、万力をホームセンターで購入する。作業台は物置にあった木箱を利用。ゴム足を取り付け、上に20mmの合板を乗せて固定した。問題は、

投資額 > 材料費

投資額 + 材料費 >> 経理部長決裁



本体各部品の製作

・上下切断とドロチューブ取付け孔加工

4.0mm厚のアルミの切断に悪戦苦闘。電動カッターの刃に熱でアルミが粘りついてすぐ切れなくなる。後で切削オイルを使えば良いことに気が付く。接眼用のドロチューブはビクセンの工場から在庫品を格安に購入した。1眼レフが直接取り付けられるすぐれモノである。



2004年10月 アルミ支柱と仮組み立て

・折りたたみ状態（収納時）

・オープン状態（使用時）

・本体仮組み立て



カシメ部に2mm厚のビニールワッシャを挟むことにより開閉の動きをスムーズにしガタツキを防止した。

上下3箇所のでねネジで組み立てが可能、心配していたガタツキは全くなし、この機構で特許が取れそうである。

* 次は光学系と架台の製作です。新開発の光軸調整機構を紹介します。